

浄願寺だより

H28冬No.5

遠方にお住まいのご門徒さんから、定期的にお寺の近況を聞かせてほしい、ご要望があり、このたび「浄願寺だより」としてお寺をとりまく身近な出来事を取りまとめてお知らせしようと思います。夏・冬二回の発行を予定しています。

平成二十八年一月二十七日発行

編集責任者

浄願寺住職 関秀法

同じ方をむいて

住職 関秀法

先日、こんな話を聞きました。

あるお寺の檀家さんに五十代の男性がいらつしやいました。実は最近、その男性の奥さんの体に癌が見つかり、ずいぶん進行が早く、お医者様がおっしゃるには、手は尽してはみるが、持つてあと半年であろう、ということだったのだそうです。

そして、その男性は、「これから私はいったいどのように妻と接して行けばよいのか」と悩み、そのお寺のご住職に相談に来られたのだそうです。ご住職はその男性に、「奥さんに直接言いくいことも、手紙に書いたら伝えられることがあるのではないですか」と提案をしたところ、男性は数日後に「こんな手紙を持って、住職にお見せになったのだそうです。そこには、男性が奥さんとこれからどのように時間を過ごしたいか、三つの要望が書いてありました。

一つ目には、「わたしは、あなたと二人で過ごした過去の思い出と一緒に振り返る時間を持ちたいと思います。一緒に旅行に行ったりした過去の事をあらためて語り合つて、あなたに心からありがとうと、言いたいのです。」

二つ目には、「これはずいぶん勇気のいることですが、わたしはあなたを見送つた後の未来の話を、あなたを交えて家族で話し合つておきたいと思ひます。家の事はこういふふうによつていこうと思う、子供たちの事はこうしようと思う、あなたの要望を聞きながら、皆で未来のことを語り合つて、あなたに安心してほしいのです。」

三つ目には、「大切な人を見送つて行くわたしの想いと、見送られて行くあなたの想いと、どちらからの想いをひとつに包んでくれるような何かを、あなたと共有して持っていたいと思ひます。

見送つて行く者と、見送られて

行く者が、ずっと向かい合わせで支え合つておらなければならぬいのではなく、見送つて行く者も、見送られて行く者も、同じ方を向いて一緒に心を委ねることができるよう何かを、二人で持つていたいと思ひます。：。

男性はそのように奥さん宛の手紙に書かれたのだそうです。

「見送つて行く者と、見送られて行く者が、同じ方を向いて一緒に心を委ねることができるよう何か」そのご夫婦にとつて、それが何であつたのかはわかりませんが、私には、お浄土からどんなときも私たちの方を向いて、やさしく微笑んでいらつしやる仏様のお姿がはつきりと心に浮かんだ、このお話でした。

合掌



浄願寺新総代決まる

去る一月十七日の総会において、任期満了により九名の総代、二名の監事が改選され、代表総代に上篠尾 竹下與作氏が選出されました。任期は四年です。

新代表総代

竹下與作氏挨拶

常日頃は浄願寺護持・運営にご指導ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。さて、今回の総代改選にあたり、不肖、私が代表総代の重責をおおせつかり、誠に恐縮に存じる次第です。つきましては皆さま方の一層のご指導ご協力をいただいて、住職のもと寺門興隆のため務めてまいる所存でございますので宜しくお願ひして、誠に意を尽しませんかご挨拶とさせていただきます。

合掌 竹下 與作

前代表総代

足立喜太男氏退任の挨拶

私、前代表の残任期間二年というところで代表総代の大役を受けさせていただき、役員様及び皆さまの「ご指導、ご協力により、浄願寺の護持・運営を大禍なく務める事が出来ました」こと、改めて厚く御礼を申し上げます。今回、任期満了により、退任することになりました。

毎月の役員定例会の中で、浄願寺墓地の造成の話が上がり、以降定例的に相談、検討してまいりましたところ、最適地の寄贈の申し出を受けるなどし、急速に具体的な計画が出来るようになり、本年総会において計画推進について承認を受けることが出来ました。どうか新総代及び皆さま方のご尽力により、実現化を願います。

若い住職のもと、時代の流れと共に、新しい浄願寺の創生と、お念仏とともに生かされる幸せを念じつつ、退任のご挨拶とさせていただきます。

合掌 足立 喜太男

前代表総代足立喜太男氏は、

その誠実なお人柄で、浄願寺をまとめあげ、「総代・住職・檀家が一つになってお寺を守る」、という大きな意識改革を私たちにもたらしてくださいました。浄願寺門徒一同を代表して心から感謝を申し上げます。

また、新代表総代 竹下與作氏をはじめ、役員・総代の皆さまにはこれから四年間、並々ならぬご尽力を賜ります。どうぞ皆さま方のご協力を宜しくお願い致します。
住職

お寺の掲示板より

天寿

いただいた命を

いただいたに付

お任せして

生きることに

WEB版では門徒の広場は

ご覧いただけません

浄願寺の

永代供養墓

お墓の管理や、後継者に不安をお持ちの方へ。

永代供養墓への埋葬・改葬も選択肢の一つです。

浄願寺永代供養墓は車道に面したお参りのしやすいお墓です。

詳しくは浄願寺ホームページか住職までおたずねください。

編集後記

6歳になる娘と、手話を習い始めました。昔、手話で会話する人たちの表情の豊かさに感動して以来、ずっと習ってみたいと思っていたのです。(私は仏頂面なもので。)また、忙しくてなかなか相手をしてやれない娘と、文字通り「会話」ができる良い機会だとも思っています。いつか娘が、父親とは口もきかない年頃になっても手話なら話をしてくれるでしょうか。

浄土真宗本願寺派
笹尾山 浄願寺

〒620-0925
福知山市上篠尾725
電話(0773)-22-5280
email jyouganjiweb@gmail.com
http://www.jyouganji.com

住職 関 秀法